一般貸切旅客自動車運送事業法令試験問題

事業者名： _____

受験者名： _____

【注意事項】

1. 試験時間は、50分間です。
2. 試験開始の合図があるまで、問題は開けないでください。
3. 問題用紙は、表紙を含めて6枚です。
4. 問題用紙は、持ち帰らないでください。
5. 不正な行為をされた場合は、直ちに受験を停止し、退場いただきます。
なお、試験は不合格となります。
6. 解答が終わり途中退室を希望される方は、挙手にて係員にお知らせください。
係員が試験問題等を回収した後、他の受験者の迷惑とならないよう静かに退室ください。

※携帯電話等の電源は他の受験者の迷惑となりますので、必ず電源をお切りください。

北海道運輸局

一般貸切旅客自動車運送事業の許可申請に係る法令知識について

・次の文章において、内容が正しいものには【 】内に○印を、内容が間違っているものには【 】に×印を記載してください。

1. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、事業用自動車内に、当該事業者の氏名または名称、自動車登録番号を旅客に見やすいように表示しなければならない。

【 】

2. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、旅客の利便を著しく阻害するおそれがあるときは、事業用自動車に車掌を乗務させなければならない。

【 】

3. 一般貸切旅客自動車運送事業に従事する運転者は、乗務中は運行指示書を携行しなければならない。

【 】

4. 一般貸切旅客自動車運送事業標準運送約款を適用する場合において、旅客は、運転者、車掌その他の係員が運送の安全確保と車内秩序の維持のために行う職務上の指示に従わなければならない。

【 】

5. 一般旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の到着が著しく遅延した場合は、速やかに原因を調査し、必要と認めるときは、その概要を公示しなければならない。

【 】

6. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の車庫ごとに、自動車の点検及び清掃のための施設を設けなければならない。

【 】

7. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、年齢、運転の経歴その他政令で定める一定の要件を備える者でなければ、その事業用自動車の運転をさせてはならない。ただし、当該運行が旅客の運送を目的としない場合は、この限りでない。

【 】

8. 一般貸切旅客自動車運送事業標準運送約款を適用する場合において、旅客は、原則として乗車券を所持せずに乗車できない。

【 〇 】

9. 一般貸切旅客自動車運送事業に従事する運転者の連続運転時間は、5時間を超えないものとしなければならない。

【 〇 】

10. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、その事業を休止し、又は廃止しようとするときは、その三十日前までに、その旨を国土交通大臣に届け出なければならない。

【 〇 】

11. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、事業計画の遂行に十分な数の事業用自動車の運転者を常時選任しておかなければならない。

【 〇 】

12. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、毎事業年度の経過後100日以内に毎事業年度に係る事業報告書を管轄地方運輸局長に提出しなければならない。

【 〇 】

13. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、運賃又は料金を收受したときは、運賃又は料金の計算基礎を記載した領収証を発行しなければならない。ただし、乗車券を発行したときは、この限りではない。

【 〇 】

14. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、運送約款を定め、国土交通大臣の許可を受けなければならない。

【 〇 】

15. 運行管理者は、法令に定める方法で行った日常点検の結果に基づき、運行の可否を決定しなければならない。

【 〇 】

・以下の各設問の()内に、正しいと思う語句を[]から選択し、記号を()に記入してください。

16. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、運転者等が事業用自動車の運行の業務に従事したときは、運転者名等の事項を運転者等ごとに記録させ、かつ、その記録を()保存しなければならない。

[ア. 六ヶ月間 イ. 一年間 ウ. 三年間]

17. 一般貸切旅客自動車運送事業の許可を受けようとする者は()の懲役又は禁固の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることが無くなった日から5年を経過していなければならない。

[ア. 6ヶ月以上 イ. 1年以上 ウ. 2年以上]

18. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、過労の防止を十分考慮して、国土交通大臣が告示で定める基準に従って事業用自動車の運転者の()及び乗務時間を定め、当該運転者にこれらを遵守させなければならない。

[ア. 休憩時間 イ. 勤務時間 ウ. 出勤時間]

19. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、運行ごとに()を記載した運行指示書を作成し、かつ、これにより事業用自動車の運転者に対し適切な指示を行うとともに、これを当該運転者に携行させなければならない。

[ア. 乗客の要望等 イ. 旅客が乗車する区間等 ウ. 点呼した者の氏名等]

20. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、その名義を他人に()。

[ア. 利用させてもよい イ. 貸し渡してもよい ウ. 利用させてはならない]

21. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、氏名及び住所を明らかにした者から運輸に関する苦情の申出を受け付けた場合、一定の事項を記録し、かつ、その記録を()間保存しなければならない。

[ア. 3ヶ月 イ. 6ヶ月 ウ. 1年]

22. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、一般旅客自動車運送事業の健全な発達を()結果を生ずる競争をしてはならない。

[ア. 助長する イ. 阻害する ウ. 確保する]

23. 一般貸切旅客自動車運送事業者の()は、事業用自動車の運転者に対し、旅客自動車運送事業運輸規則第24条に規定する点呼を行い、指示を与え、記録し、及びその記録を保存し、並びに運転者に対して使用するアルコール検知器を常時有効に保持しなければならない。

[ア. 代表者 イ. 運行管理者 ウ. 従業員]

・以下の各設問の()内に、正しいと思う語句を[]から選択し、記号を()に記入してください。

24. 自動車は、自動車検査証を備え付け、かつ()で定めるところにより()を表示しなければ、運行の用に供してはならない。

- ア. 予備検査証 イ. 道路運送法 ウ. 国土交通省令 エ. 運送約款 オ. 告示
カ. 車検証 キ. 通達 ク. 料金表 ケ. 検査標章

25. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、旅客自動車運送事業運輸規則第二十六条の二に規定する事故の記録、旅客自動車運送事業運輸規則第三十八条第一項及び第三項の規定による()の記録その他の国土交通大臣が告示で定める書類を適切に管理し、()第一項の規定による()の求め又は同条第四項の規定による()を受けた場合に、速やかに提示できるようにしなければならない。

- ア. 指導監督 イ. 報告 ウ. 道路運送車両法第六十三条 エ. 教育 オ. 乗務
カ. 旅客自動車運送事業報告規則第二条 キ. 通達 ク. 立入検査 ケ. 告示
コ. 適性診断 サ. 変更 シ. 聴聞 ス. 旅客自動車運送事業運輸規則
セ. 道路運送法第九十四条 ソ. 巡回

26. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、その事業用自動車の運転者に対し、国土交通大臣が()で定めるところにより、主として運行する路線又は()の状態及びこれに対処することができる()並びに法令に定める自動車の運転に関する事項について適切な指導監督をしなければならない。この場合においては、その日時、場所及び内容並びに指導監督を行った者及び受けた者を()し、かつ、その記録を営業所において()保存しなければならない。

- ア. 三年間 イ. 通達 ウ. 経路 エ. 法 オ. 申請 カ. 自動車
キ. 教育 ク. 告示 ケ. 通達 コ. 五年間 サ. 運転技術 シ. 省令
ス. 報告 セ. 一年間 ソ. 記録 タ. 届出 チ. 営業区域 ツ. 運転者

27. 一般貸切旅客自動車運送事業者の運転者に関する要件は、次のとおりとする。
・()歳以上であること。(道路交通法施行令(昭和三十五年政令第二百七十号)第三十四条第五項又は第八項に規定する教習を修了した者を除く。)
・普通自動車、四輪の小型自動車、三輪の自動車又はけん引自動車である大型特殊自動車の運転の経験の期間が通算して()以上であること。
・運転する事業用自動車の種類に係る()に規定する第二種運転免許を受けており、かつ、その効力が停止されていないこと。

- ア. 一九 イ. 二十 ウ. 二十一 エ. 二十二 オ. 二十三 カ. 二十五
キ. 一ヶ月 ク. 三ヶ月 ケ. 六ヶ月 コ. 九ヶ月 サ. 一年 シ. 三年
ス. 五年 セ. 道路交通法 ソ. 道路運送法 タ. 旅客自動車運送事業運輸規則
チ. 旅客自動車運送事業等報告規則 ツ. 道路運送車両法

・以下の各設問の()内に、正しいと思う語句を[]から選択し、記号を()に記入してください。

28. 道路運送法は、貨物自動車運送事業法と相まって、道路運送事業の運営を適正かつ合理的なものとする事により、道路運送の利用者の()を保護するとともに道路運送の総合的な発達を図り、もって()を増進する事を目的とする。

29. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、その使用する自動車が転覆し、()を起こしその他国土交通省令で定める()を引き起こしたときは、遅滞なく事故の種類原因その他国土交通省令で定める事項を国土交通大臣に届出なければならない。

30. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の()の確保に関する業務を行わせるため、国土交通省令で定める()ごとに、運行管理者資格者証の交付を受けている者のうちから、()を選任しなければならない。

※問28～問30 共通選択肢

- ア. 所有権 イ. 運行管理者 ウ. 出発地 エ. 保安基準 オ. 運行の安全
カ. 技術の向上 キ. 火災 ク. 利益 ケ. 迅速 コ. 走行距離 サ. 重大な事故
シ. 運営を適正 ス. 目的地 セ. 点検 ソ. 継続 タ. 営業所 チ. 公害の防止
ツ. 適切な時期 テ. 公共の福祉 ト. 保護 ナ. 乗務員の服務

一般貸切旅客自動車運送事業の許可申請に係る法令知識について(解答)

・次の文章において、内容が正しいものには【 】内に○印を、内容が間違っているものには【 】に×印を記載しなさい。

1. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、事業用自動車内に、当該事業者の氏名または名称、自動車登録番号を旅客に見やすいように表示しなければならない。(旅客自動車運送事業運輸規則第42条)

【 ○ 】

2. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、旅客の利便を著しく阻害するおそれがあるときは、事業用自動車に車掌を乗務させなければならない。(旅客自動車運送事業運輸規則第15条)

【 ○ 】

3. 一般貸切旅客自動車運送事業に従事する運転者は、乗務中は運行指示書を携行しなければならない。(旅客自動車運送事業運輸規則第50条)

【 ○ 】

4. 一般貸切旅客自動車運送事業標準運送約款を適用する場合において、旅客は、運転者、車掌その他の係員が運送の安全確保と車内秩序の維持のために行う職務上の指示に従わなければならない。(一般貸切旅客自動車運送事業標準運送約款第2条第1項)

【 ○ 】

5. 一般旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の到着が著しく遅延した場合は、速やかに原因を調査し、必要と認めるときは、その概要を公示しなければならない。(旅客自動車運送事業運輸規則第16条)

【 ○ 】

6. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の車庫ごとに、自動車の点検及び清掃のための施設を設けなければならない。(旅客自動車運送事業運輸規則第47条)

【 × 】

7. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、年齢、運転の経歴その他政令で定める一定の要件を備える者でなければ、その事業用自動車の運転をさせてはならない。ただし、当該運行が旅客の運送を目的としない場合は、この限りでない。(道路運送法第25条)

【 ○ 】

8. 一般貸切旅客自動車運送事業標準運送約款を適用する場合において、旅客は、原則として乗車券を所持せずに乗車できない。(一般貸切旅客自動車運送事業標準運送約款第8条第1項)

【 ○ 】

9. 一般貸切旅客自動車運送事業に従事する運転者の連続運転時間は、5時間を超えないものとしなければならない。(自動車運転者の労働時間等の改善のための基準第5条第1項)

【 × 】

10. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、その事業を休止し、又は廃止しようとするときは、その三十日前までに、その旨を国土交通大臣に届け出なければならない。(道路運送法第38条)

【 ○ 】

11. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、事業計画の遂行に十分な数の事業用自動車の運転者を常時選任しておかななければならない。(旅客自動車運送事業運輸規則第35条)

【 ○ 】

12. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、毎事業年度の経過後100日以内に毎事業年度に係る事業報告書を管轄地方運輸局長に提出しなければならない。(旅客自動車運送事業等報告規則第2条)

【 ○ 】

13. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、運賃又は料金を収受したときは、運賃又は料金の計算基礎を記載した領収証を発行しなければならない。ただし、乗車券を発行したときは、この限りではない。(旅客自動車運送事業運輸規則第10条)

【 ○ 】

14. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、運送約款を定め、国土交通大臣の許可を受けなければならない。(道路運送法第11条)

【 × 】

15. 運行管理者は、法令に定める方法で行った日常点検の結果に基づき、運行の可否を決定しなければならない。(車両法施行規則第32条第1項第2号)

【 × 】

・以下の各設問の()内に、正しいと思う語句を[]から選択し、()に記入してください。

16. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、運転者等が事業用自動車の運行の業務に従事したときは、運転者名等の事項を運転者等ごとに記録させ、かつ、その記録を(**ウ: 三年間**)保存しなければならない。(旅客自動車運送事業運輸規則第25条)

[ア. 六ヶ月間 イ. 一年間 ウ. 三年間]

17. 一般貸切旅客自動車運送事業の許可を受けようとする者は(**イ: 1年以上**)の懲役又は禁固の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることが無くなった日から5年を経過していなければならない。(道路運送法第7条)

[ア. 6ヶ月以上 イ. 1年以上 ウ. 2年以上]

18. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、過労の防止を十分考慮して、国土交通大臣が告示で定める基準に従って事業用自動車の運転者の(**イ: 勤務時間**)及び乗務時間を定め、当該運転者にこれらを遵守させなければならない。(旅客自動車運送事業運輸規則第21条)

[ア. 休憩時間 イ. 勤務時間 ウ. 出勤時間]

19. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、運行ごとに(**イ: 旅客が乗車する区間等**)を記載した運行指示書を作成し、かつ、これにより事業用自動車の運転者に対し適切な指示を行うとともに、これを当該運転者に携行させなければならない。(旅客自動車運送事業運輸規則第28条の2)

[ア. 乗客の要望等 イ. 旅客が乗車する区間等 ウ. 点呼した者の氏名等]

20. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、その名義を他人に(**ウ: 利用させてはならない**)。(道路運送法第33条)

[ア. 利用させてもよい イ. 貸し渡してもよい ウ. 利用させてはならない]

21. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、氏名及び住所を明らかにした者から運輸に関する苦情の申出を受け付けた場合、一定の事項を記録し、かつ、その記録を(**ウ: 1年**)間保存しなければならない。(旅客自動車運送事業運輸規則第3条)

[ア. 3ヶ月 イ. 6ヶ月 ウ. 1年]

22. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、一般旅客自動車運送事業の健全な発達を(**イ: 阻害する**)結果を生ずる競争をしてはならない。(道路運送法30条)

[ア. 助長する イ. 阻害する ウ. 確保する]

23. 一般貸切旅客自動車運送事業者の(**イ: 運行管理者**)は、事業用自動車の運転者に対し、旅客自動車運送事業運輸規則第24条に規定する点呼を行い、指示を与え、記録し、及びその記録を保存し、並びに運転者に対して使用するアルコール検知器を常時有効に保持しなければならない。(旅客自動車運送事業運輸規則第48条)

[ア. 代表者 イ. 運行管理者 ウ. 従業員]

・以下の各設問の()内に、正しいと思う語句を[]から選択し、記号を()に記入してください。

24. 自動車は、自動車検査証を備え付け、かつ(**ウ: 国土交通省令**)で定めるところにより(**ケ: 検査標章**)を表示しなければ、運行の用に供してはならない。(道路運送車両法第66条)

ア. 予備検査証 イ. 道路運送法 ウ. 国土交通省令 エ. 運送約款 オ. 告示
カ. 車検証 キ. 通達 ク. 料金表 ケ. 検査標章

25. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、旅客自動車運送事業運輸規則第二十六条の二に規定する事故の記録、旅客自動車運送事業運輸規則第三十八条第一項及び第三項の規定による(**ア: 指導監督**)の記録その他の国土交通大臣が告示で定める書類を適切に管理し、(**セ: 道路運送法第九十四条**)第一項の規定による(**イ: 報告**)の求め又は同条第四項の規定による(**ク: 立入検査**)を受けた場合に、速やかに提示できるようにしなければならない。(旅客自動車運送事業運輸規則第69条)

ア. 指導監督 イ. 報告 ウ. 道路運送車両法第六十三条 エ. 教育 オ. 乗務
カ. 旅客自動車運送事業報告規則第二条 キ. 通達 ク. 立入検査 ケ. 告示
コ. 適性診断 サ. 変更 シ. 聴聞 ス. 旅客自動車運送事業運輸規則
セ. 道路運送法第九十四条 ソ. 巡回

26. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、その事業用自動車の運転者に対し、国土交通大臣が(**ク: 告示**)で定めるところにより、主として運行する路線又は(**チ: 営業区域**)の状態及びこれに対処することができる(**サ: 運転技術**)並びに法令に定める自動車の運転に関する事項について適切な指導監督をしなければならない。この場合においては、その日時、場所及び内容並びに指導監督を行った者及び受けた者を(**ソ: 記録**)し、かつ、その記録を営業所において(**ア: 三年間**)保存しなければならない。(旅客自動車運送事業運輸規則第38条)

ア. 三年間 イ. 通達 ウ. 経路 エ. 法 オ. 申請 カ. 自動車
キ. 教育 ク. 告示 ケ. 通達 コ. 五年間 サ. 運転技術 シ. 省令
ス. 報告 セ. 一年間 ソ. 記録 タ. 届出 チ. 営業区域 ツ. 運転者

27. 一般貸切旅客自動車運送事業者の運転者に関する要件は、次のとおりとする。
・(**ウ: 二十一**)歳以上であること。(道路交通法施行令(昭和三十五年政令第二百七十号)第三十四条第五項又は第八項に規定する教習を修了した者を除く。)
・普通自動車、四輪の小型自動車、三輪の自動車又はけん引自動車である大型特殊自動車の運転の経験の期間が通算して(**シ: 三年**)以上であること。
・運転する事業用自動車の種類に係る(**セ: 道路交通法**)に規定する第二種運転免許を受けており、かつ、その効力が停止されていないこと。(道路運送法第25条、旅客自動車運送事業用自動車の運転者の要件に関する^{ルレ})

ア. 一九 イ. 二十 ウ. 二十一 エ. 二十二 オ. 二十三 カ. 二十五
キ. 一ヶ月 ク. 三ヶ月 ケ. 六ヶ月 コ. 九ヶ月 サ. 一年 シ. 三年
ス. 五年 セ. 道路交通法 ソ. 道路運送法 タ. 旅客自動車運送事業運輸規則
チ. 旅客自動車運送事業等報告規則 ツ. 道路運送車両法

・以下の各設問の()内に、正しいと思う語句を[]から選択し、記号を()に記入してください。

28. 道路運送法は、貨物自動車運送事業法と相まって、道路運送事業の運営を適正かつ合理的なものとする^{こと}により、道路運送の利用者の(**ク: 利益**)を保護するとともに道路運送の総合的な発達を図り、もって(**テ: 公共の福祉**)を増進する事を目的とする。(道路運送法第1条)
29. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、その使用する自動車が転覆し、(**キ: 火災**)を起こしその他国土交通省令で定める(**サ: 重大な事故**)を引き起こしたときは、遅滞なく事故の種類原因その他国土交通省令で定める事項を国土交通大臣に届出なければならない。(道路運送法第29条)
30. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の(**オ: 運行の安全**)の確保に関する業務を行わせるため、国土交通省令で定める(**タ: 営業所**)ごとに、運行管理者資格者証の交付を受けている者のうちから、(**イ: 運行管理者**)を選任しなければならない。(道路運送法第23条)

ア. 所有権 イ. 運行管理者 ウ. 出発地 エ. 保安基準 オ. 運行の安全
カ. 技術の向上 キ. 火災 ク. 利益 ケ. 迅速 コ. 走行距離 サ. 重大な事故
シ. 運営を適正 ス. 目的地 セ. 点検 ソ. 継続 タ. 営業所 チ. 公害の防止
ツ. 適切な時期 テ. 公共の福祉 ト. 保護 ナ. 乗務員の服務